

水産物の市況について(令和7年4月及び令和7年5月)

—東京都中央卸売市場における令和7年4月(令和7年3月21日～令和7年4月20日集計)の市況と、
令和7年5月の市況見通し(前月との比較)—

I 令和7年4月の全体の市況

東京都中央卸売市場における総入荷量(水産物の生鮮品、冷凍品及び加工品の合計)は、前月からかなり増加で推移し、前年同月比ではやや減少で推移しました。卸売価格(水産物全体の1キログラム当たり平均価格)は、前月から横ばいで推移し、前年同月比ではやや強含みで推移しました。

II 令和7年5月の主要品目の市況見通し

「まいわし(生鮮品)」

三陸～常磐沖で北上群の漁獲が本格化するのに入梅の頃と予想され、東京への入荷量は横ばい、卸売価格も横ばいで推移すると見込まれます。

「さけ類(塩蔵品・冷凍品)」

東京への入荷量はチリ産銀ざけ主体に横ばい、さけ類全般が高値で推移していることから、卸売価格は高値・横ばいで推移すると見込まれます。

「さば(生鮮品)」

産地の水揚げは低調な状態が続くとみられ、東京への入荷量は横ばい、産卵後の身質の低下から、卸売価格はやや弱含みで推移すると見込まれます。

「するめいか(生鮮品・冷凍品)」

例年、5月に入ると能登半島沖に漁場が形成され、小型サイズ主体に水揚げされるものの、全国的に低調な水揚げが続くと予想され、生鮮物の東京への入荷量は少なく・横ばい、卸売価格は高値・横ばいで推移すると見込まれます。
冷凍物は、入荷量は横ばい、卸売価格は高値・横ばいで推移すると見込まれます。

「あじ(生鮮品)」

今後も産地の水揚げは低調に推移するものの、徐々に増加すると予想され、東京への入荷量はやや増加し、卸売価格はやや弱含みで推移すると見込まれます。

「まぐろ(冷凍品)」

東京への入荷量は全体では横ばい、卸売価格も横ばいで推移すると見込まれます。

「かつお(生鮮品)」

今後、産地の水揚げ量が増加すると予想され、東京への入荷量は増加し、卸売価格はやや弱含みで推移すると見込まれます。

凡例(目安)

増減率	入荷量	卸売価格
0～2%	横ばい	横ばい
3～10	やや増加(減少)	やや強(弱)含み
11～20	増加(減少)	強(弱)含み
21～50	かなり増加(減少)	かなり強(弱)含み
51～	大幅に増加(減少)	—

東京都中央卸売市場への総入荷量・卸売平均価格(概数)

(単位:千トン、円/kg)

	4月		前月		前々月	
	入荷量	価格	入荷量	価格	入荷量	価格
7年	29	1,541	21	1,578	25	1,611
前年	30	1,403	25	1,490	26	1,502

注1:入荷量及び卸売価格は、それぞれ前月の21日から当月の20日までの暫定数値。

2:入荷量は生鮮品、冷凍品及び加工品の合計。

主 要 品 目 の 価 格

(単位:円/kg、%)

	東京都中央卸売市場卸売価格(概数)			
	4月	前月対比	前年同月対比	平年同月対比
まいわし(生鮮品)	413	96	110	114
さけ類(平均)	1,472	105	126	145
(ぎんざけ塩蔵品)	1,409	97	118	138
(あきさけ塩蔵品)	1,512	137	157	198
(べにざけ塩蔵品)	1,499	88	107	112
(さけ類冷凍品)	1,515	105	130	152
さば(生鮮品)	529	86	101	122
するめいか(平均)	1,485	96	101	143
(生鮮品)	1,360	96	98	133
(冷凍品)	1,773	100	100	159
あじ(生鮮品)	671	75	125	121
まぐろ(冷凍品)	1,889	107	111	119
(めばち冷凍品)	1,172	102	101	104
(きはだ冷凍品)	1,143	114	78	104
(くろまぐろ冷凍品)	3,347	97	105	103
(みなみまぐろ冷凍品)	2,051	100	104	99
かつお(生鮮品)	773	74	90	106

注1:品目により、市場で水産物の大きさ等が異なることから、主要な水産物の価格データを掲載。

注2:4月の価格は1～20日までの速報値を元に算出。平年とは令和2年～令和6年の加重平均値。

注3:さけ類冷凍品は、主として、ぎんざけ、あきさけ、べにざけ及びアトランティックサーモンが含まれる。

注4:まぐろ(冷凍品)は、めばち、きはだ、くろまぐろ及びみなみまぐろが含まれる。

問合せ先:水産庁加工流通課企画調査班

代表 03-3502-8111

内線 6618 中島、山崎

直通 03-3591-5613